

2018年度全国高校野球OBクラブ連合理事会（第1回）議事録

日 時： 平成30年5月19日（土）13:00～15:30

場 所： 神戸大学人間発達環境学研究科応接室

出席者： 理事：前崎、宝槻、高山、小川、北野、長ヶ原

事務局：松村、松崎、山下

欠席者： 戒能

議 題：

- 1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況について（資料1）
- 2) マスターズ甲子園2020年以降シリーズ案とクラブ連合運営について（資料2）
- 3) 全国高校野球 OB クラブ連合定款・細則の変更について（資料3）
- 4) 2017年度事業報告について（資料4）
- 5) 2018年度事業計画について（資料5）
- 6) その他

議事録

13:00より長ヶ原理事長（以下、理事長と称す）の挨拶と次第内容および理事出席者の確認により開会。また、理事長より今回の理事会について平成30年度事業についての振り返り等、詳細な確認事項が含まれるため、連合事務局員の会議への出席が提案され、各理事より同意を得た。

議題1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況について（資料1）

●全国高校野球 OB クラブ連合年会費対象校（資料1-2）

理事長より資料1-2に基づき、平成30年度全国高校野球 OB クラブ連合・年会費対象校及び年会費対象外校の年会費徴収基準について説明された。宝槻理事より、年会費対象校である、福島県の4校（平工業・いわき海星・磐城農業・会津工業）は今年度の OB チームとしての活動は難しい旨が報告された。また、前崎理事より、地区ブロック体制での活動を定期的実施することで、年会費の取りまとめが円滑にいく旨が報告された。理事長より、本来の全国高校野球 OB クラブ連合としてのあり方は、OB チームを結成し、マスターズ甲子園・予選大会へ出場することだけでなく、現役チームに対する支援も兼ねていることから、全国高校野球 OB クラブ連合に加盟し、予選大会に出場していない OB 高校についても年会費対象校となる経緯が説明された。理事長より、資料3-2の細則（定款第9条）に基づき、年会費対象校の基準について確認され、各理事の協議の結果、地方予選リーグが開設されている

27リーグは予選大会への出場有無問わず年会費対象校となる旨、予選リーグが開設していない13リーグについては、年会費の支払いは要しないことが再確認された。加えて、今後の年会費の対象は、従来通りの定款・細則に従い、年会費が未納であれば退会の対象校となり、事務局が連絡を取り説明と確認を行なった上で、退会の最終確認をもって年会費対象校を確定していくことで了承された。

議題2) マスターズ甲子園2020年以降シリーズ案とクラブ連合運営について(資料2)

理事長より、資料2マスターズ甲子園2020以降シリーズ案に基づいた説明がされた。前崎理事より、九州・沖縄ブロックでの協議の結果、毎年全国規模の大会出場を目指せる大会があれば、3年シリーズの体制でもモチベーションを重視できる案が報告された。沖縄県の九州大会への参加についても濃厚である旨が報告された。宝槻理事より、北海道・東北ブロックでのクラブ連合運営状況が説明され、北海道では、地区予選の開催が9月22・23日の2日間の開催が決定した旨が報告された。また、秋田県の動向については、OBチーム同士の交流戦に関わる説明会が予定されている点も含めてリーグ開設に向けて前向きな動きがある旨と、今後の3年シリーズへの加入見込みについて報告があった。また各県との交流大会の実施によりブロック大会への移行を準備していく計画が示された。続いて小川理事より、東海・北信越ブロックの活動状況について説明があり、3年シリーズでのブロック大会開催に向け、各予選リーグの動向と共に、今年度総会后にブロック大会に向けての協議会を開催計画している旨の報告がなされた。北野理事からは、近畿ブロック内での3年シリーズ導入については、前向きな方向で検討されている旨が報告される共に、ブロック大会時の試合ルール統一についての必要性が意見として出されていることが説明された。特に、試合球の統一(軟式球・硬式球)や硬式球での試合開催が可能な会場の選定については、今後、近畿ブロックでも調整していく必要が報告された。続いて高山理事より、関東ブロックでは、3年シリーズ案については、3年に1回でなく、3年に2回出場できる内容を説明することにより賛同されていく経緯についての報告があり、3年シリーズ案以外にも本大会の3日間開催やナイター利用の案、選抜高校野球で導入されている21世紀枠のような方式を導入する要望や意見についても出されていることが説明された。また、山梨県による加盟についての可能性についても報告された。理事長より、今後の2020シリーズ案の作成にあたっては、前年度総会で提出された3年シリーズを基本とする「申請枠」「追加枠」に「ブロック枠」としての内容案を加え、本理事会で提案された日本一決定戦の毎年開催や、春の選抜高校野球21世紀枠と同様の選出枠の案も含め、次回の理事会まで第2次案を作成し協議を行なうことが説明され、全会一致した。

議題3) 全国高校野球OBクラブ連合定款・細則の変更について(資料3-1・資料3-2)

理事長より、資料3-1全国高校野球OBクラブ連合定款52条(事業年度)に基づき、事業報告及び決算、事業年度の検討の必要性について説明がなされた。高山理事より、今後の法人化に向けて、事業年度を変更する必要性と共に、前崎理事より、定款51(条)に従い、総会を事業年度後の早い段階で開催する必要性について提案された。高山理事より、大会前日の中間報告(報告会)で途中決算の報告後、3月末までの決算報告を年度初めに会計監査の上で理事会にて承認し、その2ヶ月以内に総会において報告・承認することと、その総会についての委任状を勘案する必要がある旨が提案された。これらの提案をもとに、理事長より法人化への移行時期も鑑みた上で、事業年度の変更とこれに伴う決算報告の手続きと通常総会の時期について、次回の理事会にて案を提出し協議することで一致した。また、2017年度収支決算書については、この後の実行委員会で報告を行い、2018年総会にて、北野監査より報告することが確認された。

理事長より、**議題4）2017年度事業報告**については、マスターズ甲子園2018実行委員会（第1回）で協議する旨が提案され、協議の結果、各理事より承認された。

議題5）2018年度事業計画について（資料5）

●**全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2018関連主要スケジュール**（資料5）

理事長より、配布資料に基づき2018年度事業スケジュールの説明がされた。8月4日に第2回全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2018実行委員会（第2回）が神戸ポートピアホテルにて開催予定である旨、10月13日に第3回全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2018実行委員会（第3回）が神戸大学にて開催予定である旨、11月9日にマスターズ甲子園2018大会前日プログラムが例年通りホテルヒューイト甲子園で開催される旨が報告された。第5回全国高校野球OBクラブ連合理事会については、2019年2月16日に神戸大学で開催予定である旨が報告された。

以上をもって議案の審議が終了し、理事長により15時50分に散会